

みんなの学校 上映会&トークセッション

大阪弁護士会では、いじめや不登校など学校問題に関して、子どもや保護者、学校や教員からの法律相談をはじめ、無料電話相談『子どもの人権 110 番』やいじめ出張授業など日々活動を広げています。

このような活動の一環として、みなさまと、あるべき学校づくりについて考えたいと思い、このたび、大阪市住吉区にある大空小学校のドキュメンタリー映画『みんなの学校』の上映会を開催することとなりました。

映画『みんなの学校』には、教師のみならず地域が一体となって、不登校ゼロを目指して取り組んでいる姿が映されています。大空小学校の取り組みには、学校のあるべき姿、福祉や非行に通ずる課題を抱えた子どもへの関わり方などのヒントが溢れています。そして、小学校に通うお子様でも共感できる感動が詰まっています。

上映後には、『みんなの学校』の映画監督である真鍋俊永氏と大空小学校の初代校長の木村泰子氏とのトークセッションもお楽しみいただけます。

是非、ご興味・ご関心のある方は、お誘いあわせの上、ふるってご参加ください！！

開催日時:平成28年1月16日(土)

午後1時~午後4時30分

※午後0時40分より受付開始

開催場所:大阪弁護士会館

参加費用:無料

会場案内図



- 京阪中之島線「なにわ橋駅」下車
出口1から徒歩約5分
- 地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車
1号出口から徒歩約10分
- 地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車
26号階段から徒歩約7分
- JR東西線「北新地駅」下車
徒歩約15分

~上映会&トークセッション~

- 1 開演挨拶
- 2 上映(106分)
- 3 トークセッション

真鍋俊永監督

木村泰子氏(大空小学校初代校長)

主催 大阪弁護士会



すべての子供に 居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所をみつけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるよう育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よここび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



(C) 関西テレビ放送



会場準備のため、参加予定の方は、参加申込書にご記入の上ファクシミリでお申込みください。
参加申込書（FAX：06-6364-7477）

氏 名		ご所属	
TEL		(職種)	弁護士の方 (登録番号：)

一時保育サービスを実施します（無料）1月8日までに事前申込み要 下記人権課へご連絡ください。

*回答先：子どもの権利委員会 担当事務局

(担当事務局：委員会部 人権課 / TEL：06-6364-1227)



大阪弁護士会